

▼各常任委員会での質疑の主な内容は次の通りです。

【総務経済常任委員会】

◎総務課所管

Q 廃校の利活用に係る小さな拠点可能性調査とはどのようなものか。

A 旧小平中学校の施設を拠点とし、集落維持再生のための可能性を見出すための基礎調査です。地域住民の意見を反映した調査をしたい。

Q 旧永田小の銅像撤去や花木伐採はどういった経緯で行われたのか。地元住民の思いもあるのに、粗末な扱いをしないではないか。

A 撤去の予算は昨年計上しました。今後、文書保管のため体育館を改修するので、銅像もそこに展示したい。

◎住民課所管

Q 国民健康保険税、去年のような上昇は見られなくなるということなのか。

A C型肝炎治療薬の値段が下がったため、昨年のような上昇はないと思われる。

Q 特定健診の受診率はどうのくらいか。

A 平成27年度は38%です。

◎健康福祉課所管

Q 一人暮らし確認状況書を郵便局と提携するが、こういった内容か。

A 住民課で協定を結び、一人暮らしの方の郵便物が溜まっている状況を役場に伝えるなどします。健康福祉課では希望者に月2回配食サービス、包括支援センターでも月1回家庭訪問を実施しています。

Q 人間ドック申し込み状況は。周知方法は

どうしているのか。

A 対象者617人、申請者は216人(35%)です。婦人会など各団体に協力をお願いしているほか、職員の家庭訪問、チラシなどでも周知していきます。

◎産業課所管

Q 農家民宿の講演会を行ったが、参加者の状況は。

A 参加者は10名ほど。食品衛生管理講習会は6名受講しました。参加者それぞれで農家民泊を進めると思いますが、村としての支援は今後の検討課題です。

◎地域整備課所管

Q ひらた清風中学校の進入路は村道に認定し管理するのか。

A 現在教育課と協議中です。荻ノ作地内からの村道は大柿側への接続を予定してい

ます。

◎教育課所管

Q ひらた清風中学校道路舗装工事費、補正予算としては金額が大きい。

A あらかじめ財源を確保する必要があったことと、資材等の高騰も考慮しました。

Q 校庭の整備はどのように考えているか。

A 400mトラックがとれる広さのグラウンドにする考えです。新校舎にはどの段階で移るのか。

A 工事進捗を見ながら、秋頃までに判断したい。

総務経済常任委員会

現地視察調査として、村道1334号道路舗装工事(上蓬田遅沢前地内)、村道1326号線道路改良舗装工事(九生滝大道地内)、あじさい公園整備事業植栽工事、武名坂地内配水管敷設替工事など、村内11カ所の現地視察を行いました。工事業務にあたっては、住環境への影響に配慮すること、きめ細やかな地元対応はもちろん、工事を着実に進め、工期の遵守が図られるよう要請しました。

また、優良基礎肉用雌牛導入事業については、導入希望者の要望に応えること、ジュピアランドひらたに併設されているあじさい公園の長期ビジョンを示すことを併せて要請しました。



△無料開放されたあじさい園

【文教厚生常任委員会】

◎総務課所管

Q C型肝炎の基金残高は。

A 平成27年度末で3千400万円です。

Q 国保会計への法定外繰出は。

A やむを得ずの措置として行っている。殆どの自治体も同様です。

◎税務課所管

Q コンビニ収納の利用見込みはどの程度か。周知はどのように行ったのか。

A 利用は1割程度を見込んでいました。周知は納付書にチラシを同封するなどしています。

◎住民課所管

Q 国民健康保険税軽減割合別の人数は。

A 7割軽減が267名、5割軽減が122名、2割軽減が88名です。

◎健康福祉課所管

Q 総合検診の対象者は何人か。

A 各健診あわせて、通知者は1千800人程度です。各地区の保健推進員が受診録等を配布しています。

◎産業課所管

Q 薬草栽培について、全種類作付け可能なのか。

A 試験栽培により状況を見ます。栽培方法が確立すれば、農家に情報提供し、産地化を図るとともに、6次化商品も開発します。

Point

平田村と奥羽大学薬学部は7月1日、薬草栽培の共同研究を行う協定を結びました。ジュピアランドひらた内のハウスと露地で、薬用植物の「甘草（かんぞう）」を栽培しています。今後「ムラサキ」「オタネニンジン」も栽培する計画です。

◎地域整備課所管

Q 生コン支給事業について、幅員2.5mは狭いので、各箇所の最大幅員で施工するよう指導願いたい。

A 生コンの打設は地元で実施しますが、事前の路盤整備は村側で実施するので、各現場にあわせた最大幅員になるよう、施工業者に指導しています。



△生コン支給事業

◎教育課所管

Q スポーツクラブについて、平成29年度からスポーツ振興くじさの助成が終了するが、今後の存続は。A 現在自主運営を目指し、資金の見直し、参加者が増えるよう

な事業を展開している。

Q こども園のトイレ改修について要望してきたが、その後の対応はどうなっているか。

A 小平は4つのうち2つが洋式化されています。蓬田についても工事費を計上したが、予算がつかなかったため、1カ所だけポータブルトイレを加工して設置しました。

Q 両こども園とも老朽化しているが漏水や漏電などの障害は起こっていないか。

A 過去にはあったが、その都度対応しています。なにかあれば園長から連絡をもらうことになっていきます。

文教厚生常任委員会

現地調査として、ひらた清風中学校校舎・屋内運動場建築工事、仮置き場復旧工事、小平こども園、蓬田こども園などを視察しました。

平成29年3月完成予定のひらた清風中学校については、計画通り着実に事業を進め、事業内容に変更が生じる場合は速やかに議会・住民へ十分な説明と情報提供に努めるよう要請しました。

なお、以前から要請しているこども園の建設は、3～4年後になると推察されます。こども園は老朽化が進んでいることから、施設の安全には万全を期するよう要請しました。



△工事が進行中のひらた清風中学校建築現場